

GPS 安全性要約書

ファーミン DM1098

この製品安全性要約書は、一般社会へ化学物質の用途・用法、安全性情報の概要を提供するものです。この文章は、サプライヤーから提供される、用途毎に推奨される詳細な安全措置について記載されている安全データシート (Safety Data Sheet) に代わる文書として作成されたものではありません。また、製造者から提供される、この物質を含む消費者製品の使用説明書や警告に代わるものとして作成されたものでもありません。記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいておりますが、いかなる保証をなすものでもありません。

1. 物質の特定名

商品名: ファーミン DM1098

化学名: Decyldimethylamine

CAS 番号: 1120-24-7

2. 使用・用途と適用

ファーミン DM1098 は、両性界面活性剤の製造を含む様々な化学工業的用途に使用されます。この物質は一般消費者向けには販売されていないため、この物質の使用は工業的用途に限定されます。

3. 物理化学的特性

ファーミン DM1098 は金属腐食性があります。

特性	値・性状
物理的状態	液体
色	無色透明
臭い	アミン臭
pH	情報なし
密度	情報なし
融点	-39 °C
沸点	> 40 °C
引火点	102 °C (クリーブランド開放式測定器)

可燃性	情報なし
爆発性	情報なし
自然発火温度	> 100 °C
蒸気圧	情報なし
水への溶解性	不溶
オクタノール／水分配係数(Log K _{ow})	情報なし
粘度 (粘性率)	情報なし
金属腐食	金属腐食性物質

4. ヒト健康影響

ファーミン DM1098は飲み込むと有害であると考えられます。未希釈のこの物質は皮膚に触れると重篤な薬傷を、眼に入ると重篤な損傷を与えると考えられます。

この物質は工業的に閉鎖されたシステムで製造され、取り扱われるため（中間化学物質として使用）、消費者への曝露は考えられません。この物質の消費者用最終製品への使用は予測されないため、消費者への危険なレベルの曝露は考えられません。

この物質の工業用途での製造や取扱いは閉鎖されたシステムで行われるため、作業者はこの物質に接触する事はありません。さらにこの物質の蒸気圧は低いため、吸入による曝露は限定されます。メンテナンス、サンプリング、テストや他の操作において、意図しない曝露が起こった際には **Safety Data Sheet** に記載されている応急措置に従って下さい。

アセスメント項目	結果 (EU (REACH) によるアセスメント)
急性毒性：経口/吸入/経皮	飲み込むと有害です。吸入すると有害な可能性があります。気道刺激性があります。
刺激性/腐食性：皮膚/眼/気道	重篤な皮膚の薬傷の原因となります。 皮膚刺激と眼に対する重篤な損傷の原因となります。
感作性	情報なし
繰り返し曝露による毒性：経口/吸入/経皮	情報なし
遺伝毒性	変異原性はありません。
発がん性	情報なし
生殖発生毒性	情報なし

5. 環境影響

魚類、水生無脊椎動物、藻類に対する試験結果から、ファーミン DM1098は環境中での高濃度曝露が生じた場合、水生生物に対する非常に強い毒性があります。また、水生生物に対する長期継続的影響による非常に強い毒性があります。しかし、容易に生分解され、環境中には残留しません。また、食物連鎖における濃縮もないことから実環境における影響は小さいと考えられます。

アセスメント項目	結果
水生毒性	環境中での高濃度曝露が生じた場合、水生生物に対する非常に強い毒性があります。また、水生生物に対する長期継続的影響による非常に強い毒性があります。
生分解性	容易に生分解されます。

生物濃縮性	BCF値は2000以下と見積もられています。
PBT/vPvB	PBT/vPvBには該当しません。 ^{注)}

注)

PBT=Persistent, Bioaccumulative and Toxic (残留性・蓄積性・毒性を有する物質)

vPvB=Very Persistent and Very Bioaccumulative (高残留性・高蓄積性を有する物質)

6. 曝露

ヒト健康

ファーマミン DM1098 は、両性界面活性剤の製造を含む化学工業的用途に使用されます。そのため、この物質への曝露は工業用途での使用時に作業者にのみ起きると考えられます。一般消費者へのこの物質の曝露はありません。製造時の作業員への曝露は、プロセス、保存、取扱い操作において厳密に管理されているため非常に低いと考えられます。この物質はそのライフサイクル全般に渡り技術的な対応により厳密に閉鎖されたシステムで取り扱われています。他の反応槽や保存タンクへの輸送には閉鎖された輸送パイプが使われています。作業員が、未反応や希釈されていないこの物質に誤って触れた場合、**Safety Data Sheet**に記載されている応急措置に従う必要があります。

環境

ファーマミン DM1098 を含む化学物質の製造は閉鎖され自動化されたプロセスであり、環境への排水や気体による放出はありません。またこの物質の工業的な使用では、全ての液状の排出物は焼却専用の特別な容器に保存されています。

7. 推奨リスク管理措置

化学物質を使用する際には、適切な換気がなされていることを確認して下さい。手や皮膚の保護のために適切な耐化学薬品手袋を常に着用し、眼の保護具を装着して下さい。ファーマミン DM1098 は皮膚腐食性があり、眼に重篤な損傷を与えるため、耐アルカリ性保護手袋と飛沫が眼に入るのを防止するゴーグル型または全面保護眼鏡を装着しなければなりません。また、適切な作業衣も着用しなければなりません。化学物質の取扱い、処理、保管をする場所では、飲食・喫煙をしないで下さい。化学物質が衣服に付いた場合はすぐにすべての付着した衣服を脱いで下さい。化学物質を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息して下さい。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗って下さい。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。化学物質が皮膚に付着した場合は、即座に 2%の酢酸水で充分洗浄し、ぬるぬるする感じがなくなるまで多量の水で洗浄して下さい。直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。

8. 法規制情報/分類・ラベル情報

GHSに基づき、化学物質はその物理特性、ヒト健康、環境への危険有害性に従って分類されています。この危険性の情報は、産業製品では、特定のラベルと**Safety Data Sheet**によって伝達されています。GHSでは化学物質の曝露が想定される対象者（作業員、消費者、輸送業者、緊急時の対応者）が、扱う化学物質の危険有害性をより理解できるように努めています。

分類・ラベル情報：

金属腐食性：区分1

急性毒性（経口）：区分4

皮膚腐食性／刺激性：区分1B

H290：金属腐食のおそれ

H302：飲み込むと有害

H314：重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1
水生環境有害性（急性）：区分1
水生環境有害性（慢性）：区分1

H318：重篤な眼の損傷
H400：水生生物に非常に強い毒性
H410：長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性



注意喚起語：危険

製造、販売、輸送、使用、廃棄に関わる法令は、国や地域によって異なります。詳細についてはサプライヤーから提供されるSafety Data Sheetを参照して下さい。

9. 結論

ファーミン DM1098は生産現場において管理された状況下で使用されています。ファーミンDM1098の生産や利用は、Safety Data Sheetに沿った取り扱いを行う限り、ヒトや環境へのリスクをもたらしません。

10. 連絡先

この物質・安全性要約書に関する、詳しい情報については以下にお尋ね下さい：

会社名、部署	花王株式会社、ケミカル事業部門
電話番号	03-5630-7601
ファックス番号	03-5630-7964
電子メール	chemical@kao.co.jp

追加・関連情報に関しては、一般社団法人日本化学工業協会が提供する「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」をご覧ください。

(<https://www.jcia-bigdr.jp/jcia-bigdr/top>)

11. 用語集

急性毒性	単回曝露による有害な影響
感作性	アレルギー誘発性
遺伝毒性	遺伝子・染色体に変異をもたらす影響
発がん性	がんを引き起こす作用影響
生殖発生毒性	催奇形性、胚毒性及び、繁殖性への有害な影響
生分解性	環境における物質の生物学的分解性
PBT (Persistent, Bioaccumulative and Toxic)	残留性・蓄積性・毒性を有する物質
vPvB (Very Persistent and Very Bioaccumulative)	高残留性・高蓄積性を有する物質
GHS	化学品の分類と表示に関する国際調和

12. 発行日

2024年7月11日 改訂